

2022年度 入学試験 学特入試 I

国 語

※問題は[1]ページから[12]ページまであります。

※マークシートに、受験番号・氏名・性別・科目を正しく記入してください。

※解答は、すべてマークシートに記入してください。

※書き誤りをしたときは、きれいに消してから、新しい解答を書いてください。

学 特 入 試 I	受 験 番 号		氏 名	
-----------------------	------------------	--	------------	--

高崎健康福祉大学高崎高等学校

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

先に、^{タウト}が『日本美の再発見』で指摘した床の間の美について述べた。床の間はやがて、書院造りを問わずその後の日本家オクの内部空間のシ覚的中心をなすシンボルとなっていく。

床の間では、書画・骨董とともに季節を映す置物として生け花の造形が切り離せない存在である。茶道とならんで、日本文化を象徴する芸術表現に生け花という華道の世界がある。言うまでもなく生け花は、草木の花枝を花器に挿す日本独自の芸術的表現であり、日本人の自然に対する美意識の象徴として捉えられている。

生け花という芸術表現のキ源は仏教伝来にもない、それは仏前に手向ける供花だったと言われている。他に、一本の花を飾ることによって、天空から神が下りてくる依代としたのがはじまりという説もあるが、私はどちらの成立説も正しいと考える。

生け花に今日のような造形的な形式美と精神的な美意識が加えられ、華道という芸術表現に昇華されたのは、室町時代に書院造りがつくられ、室内に床の間という空間が誕生してからである。以来、日本の生け花は、成立の時期や、その流派によって立花、生け花、投げ入れ花、盛り花、飾り花、茶花から現代の草月流がはじめた前衛生け花まで、さまざまな様式を生みだしてきた。

室町時代までさかのぼれる生け花の基本は、投げ入れ花や立花、立花である。それは現在の生け花のように左右、奥行きに広がらず、ほぼスィ直線を中心とした飾り花風の生け方であった。江戸時代中頃になると、花を生け飾る様式化や装飾性が高まり、芸術としての生け花の形式がつ

くられていく。明治時代、洋花を加えた装飾的なフラワー・アレンジメントなどの要素が加わり、盛り花の型が誕生した。茶花は茶道における茶席に飾る生け花として、特にこの名前が付されている。華道は、花や植物という生命ある対象を芸術の領域にまで高めた、日本人のつくりだした世界でも唯一のジャンルなのである。

四季豊かな自然の中で暮らしてきた私たち日本人のソ先は、短い花の命の輝きを人生の夢になぞらえて、心を癒そうと花を挿す喜びを見出し、たに違いない。

この生け花が唯一日本で芸術として成立したのは、単に装飾するという飾り花の域を超えて、そこに深い精神性を見出そうとした時空間的な日本人の宇宙観による。すでに室町時代、能楽者の世阿弥による「風姿花伝」に、生け花に宇宙観や芸術性を見出す姿が現れている。それは、同書の「秘すれば花」ということばに象徴される。世阿弥は、花を美のシンボルのみならず能の基本理念とし、そこに精神性を込めた。その背景には、仏前の供花とともに神霊を迎えるための依代として榊や松などの常緑樹（常磐木）を用いる

I 風習の影響もみられるだろう。

江戸時代以降、さまざまな生け花の流派が誕生したが、造形のそれぞれの型式とあわせ、各流派は宇宙の万物と照合した型（家元の表現形式）をもつ。松花堂古流では花の生け方の基本となる、主枝、副枝と添えの三つの構成を、天と地と人の三つになぞらえ、「天地人」とよんだ。

II、他の流派では、それぞれ正格の「真」と、これを崩したかたちの「草」、その中間の「行」を指す「真行草」の考え方、また別の流派では能楽の演じる速度からくる「序破急」の形式をなぞった理念を打ちだしている。生け花の精神性には、このように宇宙観、自然観と

のかかわりが思いのほか深いのである。(a)

これに対し西洋のフラワー・アレンジメント(現在は一般にフラワー・デザインやフラワー・アートとよんでいる)は、花そのものを愛で、その美しさを精一杯飾り立て表現しようとするデコレーションとしての装飾様式である。

元来、西洋のフラワー・アレンジメントは髪に花を挿す髪飾りやブーケ(花束)、リース(花環)とともに発展した装飾美術様式であり、基本的に日本の生け花と異なり、乾燥させた花飾りのドライフラワーであった。(b)

その造形表現も西洋では安定した装飾的要素を盛り立てるため、左右対称のシンメトリー型に配置したり、モミの木のような二等辺三角形(ツリー型)、円錐形(コーン型)あるいは円形(リース)のような幾何学的なかたちに終始している。

これに対し日本の生け花は、自然のままのかたちの美しさを器に再現しようとしたコンセプト(芸術的な概念)に基づいているため、自然界に完全なシンメトリーは見られないように、基本的にシンメトリーの形状や挿し方はしない。(c)

日本人の美意識は、非対称(アシンメトリー)に挿した花枝をいかに均衡(バランス)をとりながら、全体を上手くまとめる(コンポジション)かという点に精神性を高めてきたからである。

Ⅲ 長さや方向・角度の異なる大きささまざまな花枝のアンバランスな配置(アレンジメント、レイアウト)でありながら、いかにダイナミックに仕上げ、統一感やまとまり感(ユニティ)を生みだし、人を惹きつけるかに感性を集中させるのである。(d)

日本人は古来、四季に移ろう美しい自然の姿かたちとともに、それらの微妙な色の変化に対して繊細な感覚をもち合わせていた。

その証は今に残されている何とも豊富な日本の色名の多さからも、うかがい知ることができる。現代こそ化学染料(合成染料)によって、あらゆる色調の色が再現できるようになったが、江戸時代までは樹皮や植物の煎汁、また石、土、鉱物など自然由来の染料や顔料に限られていたため、再現できる色数も制限されていた。

江戸時代の元禄期に見わたしてみると、中国や西洋にも共通して自然に由来した色は多い。ところが日本の色は圧倒的に微妙なトーンまで識別し、そこに色名がつけられていることがわかる。この色の豊かさが服飾や建築、工芸分野など日本の装飾美術に一層華やかな奥深い表現をつくりだしているのである。

(三井秀樹「かたちの日本美 和のデザイン学」による)

(注) *タウト=ブルーノ・タウト。ドイツの建築家。

*依代=神霊がよりつく対象物。

*立花・投げ入れ花・盛り花・飾り花・茶花・草月流・前衛生

け花・立花・松花堂古流=いずれも生け花の様式の名前。松

花堂古流は松月堂古流を指していると思われる。

*煎汁=煮出した汁。

(1) 二重傍線部A～Fのカタカナと同じ漢字があてはまるものを、次の①～④の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

A 家オク
1

- ① オク病
- ② オク外
- ③ オク底
- ④ 記オク

B シ覚
2

- ① シ亡
- ② シ察
- ③ シ集
- ④ シ揮

C キ源
3

- ① キ則
- ② キ嫌
- ③ キ険
- ④ キ床

D スイ直
4

- ① 車にノる
- ② 役員にオす
- ③ 暗雲がタれる
- ④ 笛をフク

E ソ先
5

- ① ソ訟
- ② ソ末
- ③ ソ養
- ④ ソ国

F カン燥
6

- ① カン声
- ② カン季
- ③ カン境
- ④ 果カン

(2) 傍線部ア「生け花は、草木の花枝を花器に挿す日本独自の芸術的表現であり」とありますが、その理由を筆者が説明したものととして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- ① 外国には日本にあるような和室の作りが存在せず、また、仏や霊を花をもって迎えようとする風習がもともと社会になかったから。
- ② 日本では神仏に美しい花を供えることが喜ばれ、花を飾ることで神が降りて来るということが世間に広く信じられてきたから。
- ③ 日本人は自然の中の花や動物を愛する民族であり、それらについて芸術の領域にまで高めた様式を持ちたいと強く願っていたから。
- ④ 日本人は四季の花によって心を癒すとともに、単なる装飾にとどまることなく花に精神性を見出す宇宙観を持っていたから。

(3) 本文中の空欄 I に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

8

- ① 伝統的
- ② 精神的
- ③ 空間的
- ④ 機械的

(4) 本文中の空欄 II・III に入る語として最も適当なものを、次の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

9

10

- ① ところで
- ② つまり
- ③ では
- ④ それでも
- ⑤ また
- ⑥ なぜなら

(5) 傍線部イ「生け花」の発展に関する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

11

- ① 室町時代の世阿弥の考え方から発しており、江戸時代の各流派によって発展を見たあと、西洋の要素が加わって完成されていった。
- ② 日本人が持つ自然観と深いかかわりを持ち、生け花においてはその精神性をより高めるために、色々な理念が考案され続けてきた。
- ③ 生け花に芸術性を見出すことに全盛を極めた江戸時代では、精神性の理解の仕方において複数の流派が対立するまでになった。
- ④ 美のシンボルではなく能の基本理念であるとされたように、生け花という枠を超えて、他の多くの芸術分野に影響を与えた。

(6) 傍線部ウ「西洋のフラワー・アレンジメント」に関する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

12

- ① シンメトリー型に代表されるような均衡がとれた様式の中で花を楽しもうとするもので、全体を上手くまとめようとする姿勢がある。
- ② 様々な幾何学的な形態を駆使することによって、花が持つ本来の美しさを自然に近い状態に保って楽しもうとする姿勢が見られる。
- ③ 花そのものが持つ美しさを鑑賞するためのものであって、その造形表現では人工的な形による安定した装飾的要素が重んじられる。
- ④ 花の美しさを精一杯飾り立てて表現しようとするのが好まれるもので、人間の髪や体の装飾として使われることを目的としている。

(7) 次の一文を本文中に補う場合、(a)～(d)の中で最も適当な場所はどこですか。該当するところを次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

13

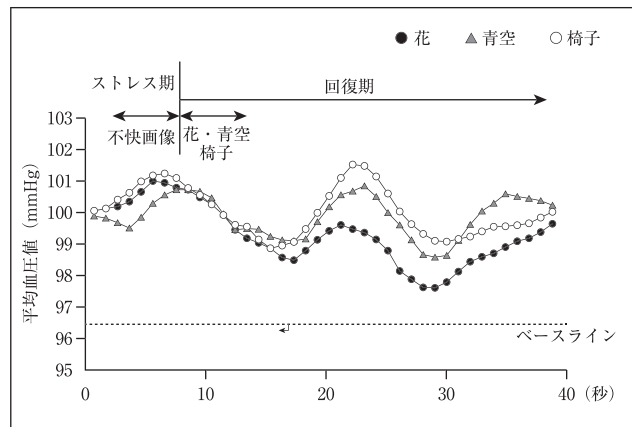
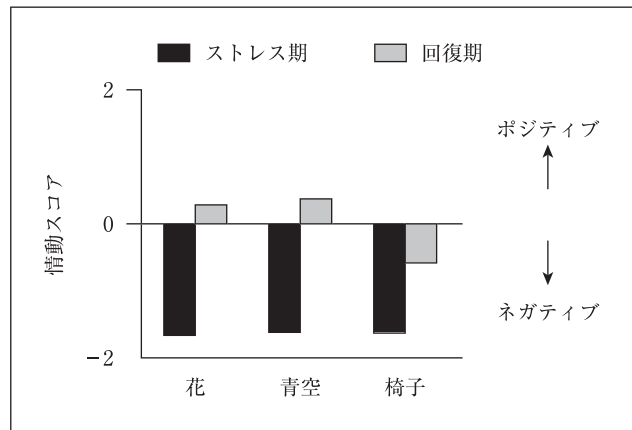
〈そこには生け花のような旬の季節感や生命体の宿る精神性も、宇宙観も存在していない。〉

- ① (a)
- ② (b)
- ③ (c)
- ④ (d)

(8) 次の資料は、ストレス期に事故などの不快な画像を見せ、回復期に花・青空・椅子の画像を見せたときの心身の変化を調べた実験の結果である。本文とこの資料から読み取ることができる内容として最も適当なものを、後の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

14

- ① 「日本人の自然に対する美意識の象徴」と本文にあるように、花はあらゆるものの中でも、人が一番前向きな気持ちになれるものとわかる。
- ② 「芸術としての生け花の形式」と本文にあるように、人は美しい花を見ると、自然と芸術的な気分になり創作意欲が高まる傾向にあることがわかる。
- ③ 「自然のままのかたちの美しさを器に再現しようとした」と本文にあるように、人は花を見ると広大な自然を連想することがわかる。
- ④ 「微妙な色の変化に対して繊細な感覚をもち合わせていた」と本文にあるように、人の心は美しい花によって癒されるものだとわかる。



(農林水産省 令和三年五月「花きの現状について」より)

〈資料：花の鑑賞が脳の活動に影響を与える度合いに関する実験〉

(9) 本文の展開の仕方として適当でないものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

15

- ① 生け花に関する歴史的な考証を用いて、具体的な変遷を含めて説明すること、読者の理解を助けている。
- ② 生け花が持つ精神性に関する考え方を文章の中心に据えて書くことにより、対象の本質へと議論を展開している。
- ③ 生け花とは対照的な外国のデザインを例として提示することによって、それを非難する個人的な思いを表現している。
- ④ 最後には花に係る別の話題を書くことによって、生け花だけにとどまらない広い領域に対する考察を見せている。

(10) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

16

- ① 日本人は自分が住む家の中に特別な空間を作ることが好み、その中において精神を集中させる対象として生け花を活用してきたのであり、それが能楽に見られる集中力の深さへと結びついている。
- ② 日本人は古来より自然の中にある植物や様々な色彩に心を寄せて楽しんできたのであり、そのような心性が生け花や染料を生み出し、さらには他の装飾美術の分野における奥深さを実現させている。
- ③ 日本人はかつて仏教を深く信仰し、その信仰心から自然と草花に対する深い愛情が生まれたのであり、そのように自然を愛好する心が現代文明において失われつつあるのはひどく残念なことである。
- ④ 日本人は花という自然界の生命を芸術の領域にまで高めることを望んで生け花を創出したのであり、自然物をそのままの形で保存するのではなく、自分の生活様式に合うように変形するのを好んだ。

二 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

僧である「賀能ち院」は悪行を重ねたあげく亡くなってしまった。師であった僧都は「賀能ち院」は必ず地獄に落ちるだろうと思い、心を痛めていた。

*かかる程に、「塔のものとaの地蔵こそ、この程見え給はね。アいかなる事にか」と院内の人々言ひ合ひたり。「人の修理し奉らんとて、取り奉りたるにや」などいひける程に、この僧都の夢に見給ふやう、「この地蔵の見え給はぬは、いかなる事ぞ」と尋ね給ふに、傍に僧ありて曰く、「この地蔵菩薩、早う賀能ち院が無間地獄に落ちしその日、やがて助けんとて、あひ具して入り給ひしなり」といふ。夢心地にいとあさましくて、「いかにして、さる罪人には具して入り給ひたるぞ」と問ひ給へば、「塔のものを常に過ぐるに、地蔵を見やり申して、時々拜み奉りし故なり」と答ふ。夢覚めて後、自ら塔のもとへおはして見給ふに、地蔵まことに見え給はず。

〔宇治拾遺物語〕による

(注) *かかる程に〓こうしているうちに。

*〓にや〓〓ではないか。

*無間地獄〓地獄の種類のひとつ。

*あひ具して〓一緒になって。

*あさましくて〓意外で。

*おはして〓いらっしやうて。

(1) 波線部 a～d の「の」について、意味・用法が他の三つと異なるものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

17

- ① a 「塔のものとaの地蔵」
② b 「人の修理し奉らん」
③ c 「この僧都の夢に」
④ d 「この地蔵の見え給はぬは」

(2) 傍線部ア「この程見え給はね」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

- ① 賀能ち院が地蔵を寺から持ち去ってしまったから。
② 賀能ち院の死とともに地蔵を修理しているから。
③ 地獄から戻ってくる賀能ち院を迎えに行つたから。
④ 地獄に落ちた賀能ち院と行動を共にしていたから。

(3) 傍線部イ「やがて助けんとて」の意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

19

- ① すぐ助かるだろうと思って
② いつか助けたいと言って
③ すぐに助けようとして
④ そのうち助かるとして

(4) 傍線部ウ「あひ具して入り給ひしなり」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。20

- ① 賀能ち院は生前に地蔵を敬う行動をすることがあったから。
- ② 賀能ち院は地獄に落ちる時に自分を助けるよう頼んだから。
- ③ 賀能ち院は死ぬ前に、崩れかけていた地蔵を自ら修繕したから。
- ④ 賀能ち院は師の僧都に申し訳なく思う気持ちを持っていたから。

(5) 傍線部エ「答ふ」の動作の主体を、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。21

- ① 賀能ち院
- ② 院内の人々
- ③ 師の僧都
- ④ 傍の僧

(6) 本文中で述べられている内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。22

- ① 死んだ後に苦しい目にあわないようにするために、心から地蔵を敬うべきである。
- ② 地獄に落ちた者を救うことができるのは、他の神仏と違い特別な力を持つ地蔵だけである。
- ③ 地蔵の心は寛大で、相手がどのような者であっても信心があるのなら救おうとする。

④ 生前に悪い行動を取っていた者は、地蔵によって死後も苦しめられることになる。

(7) 本作品（「宇治拾遺物語」）は鎌倉時代に成立した説話集です。この作品と同じく鎌倉時代に成立した作品として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。23

- ① 『源氏物語』
- ② 『方丈記』
- ③ 『枕草子』
- ④ 『古今和歌集』

③ 次の漢文を読んで、後の問いに答えなさい。

孟子まう子曰いはク、「①尽其心者、

知ル其二性也。知レバ其二性、則すなはチ

知ルナリ天矣。存シ其心、養フハ其

性、②所以事天也。夭よゆう寿じゆ

不レ忒、修メテ身以俟まつテ之、

所以立命也。」

(注) *孟子 Ⅱ 古代中国の思想家。

*性 Ⅱ 人の本性・天性。

*夭寿 Ⅱ 寿命。

*不忒 Ⅱ 疑わず。

*俟之 Ⅱ 死を待つのは。

(「孟子」による)

(1) 傍線部①「尽其心者」が「其の心を尽くす者は」という書き下し文

になるように返り点をつけるとき、次のAⅡDに適するものを、それぞれあとの①Ⅱ⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい
(同じ番号を何度選んでもよい)。

尽A其B心C者D

・ C	・ A
26	24
・ D	・ B
27	25

- ① 一
② 二
③ 三
④ 四
⑤ 上
⑥ 下
⑦ 下
⑧ 返り点なし

(2) 傍線部②「所以事天也」とありますが、これについての説明として最も適当なものを、次の①Ⅱ④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
28

- ① 人の本性が作られる原因について説明している。
② 国家が成立するのに必要なものを指摘している。
③ 心によって世界が変わることを宣言している。
④ 心と天は密接な関係にあることを教えている。

(3) 傍線部③「修」とありますが、文章中と同じ意味で「修」が用いられている熟語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- ① 修理
- ② 研修
- ③ 修飾
- ④ 監修

(4) 傍線部④「立命」の口語訳として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- ① 天命を全うする
- ② 生命を守り抜く
- ③ 命令を理解する
- ④ 宿命によく従う

(5) この文章が伝えようとしていることとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

31

- ① 人の心は理解し難いもので、惑わされやすい。
- ② 人の運命はその人の心がけ次第で決まるものだ。
- ③ 人が進むべき道は天によりすでに決められている。
- ④ 人の本性をよく理解し従うことが大切である。

四 次の(1)～(4)の部首に分類される漢字として適当でないものを、あとの①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) なべぶた

32

- ① 夜
- ② 京
- ③ 交
- ④ 亭

(3) もんがまえ

34

- ① 間
- ② 聞
- ③ 開
- ④ 関

(2) ちから

33

- ① 加
- ② 助
- ③ 賀
- ④ 努

(4) きへん

35

- ① 材
- ② 枝
- ③ 枚
- ④ 相

五

次の(1)～(4)の意味を持つ故事成語として最も適当なものを、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) 物事を完成させるために最後に加える大事な仕事のこと。

36

(2) 物事のつじつまが合わないこと。

37

(3) 周囲を敵に囲まれてしまうこと。

38

(4) 目上の人を激しく怒らせること。

39

- ① 画竜点睛がりょうてんせい
- ② 矛盾むじゆん
- ③ 背水の陣はいすいじん
- ④ 朝三暮四ちようさんぼし
- ⑤ 蛇足だそく
- ⑥ 逆鱗に触れるげきりんしゅる
- ⑦ 四面楚歌しめんそか
- ⑧ 臥薪嘗胆がしんしょうたん

六

次の傍線部の①～⑧の中から、(1)形容詞・(2)連体詞・(3)形容動詞・(4)副詞をそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

・その荷物をここに置いてください。

・彼がかいた絵は実に見事で、感動した。

・もうあまり時間がないから急ぎましょう。

・昨夜のパーティーはとても寂しく静かだった。

・あなたは今までどこにいたのですか。

・もしもし、どちら様ですか。

・ちいさな箱にお菓子をしまおう。

・今日は明るい空が見られる。

(1) 形容詞 40

(2) 連体詞 41

(3) 形容動詞 42

(4) 副詞 43

